

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-109835

(43)Date of publication of application : 20.04.2001

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G06F 17/60

G06K 7/00

(21)Application number : 2000-076303

(71)Applicant : SEVEN ELEVEN JAPAN CO LTD

(22)Date of filing : 14.03.2000

(72)Inventor : USUI MAKOTO

(30)Priority

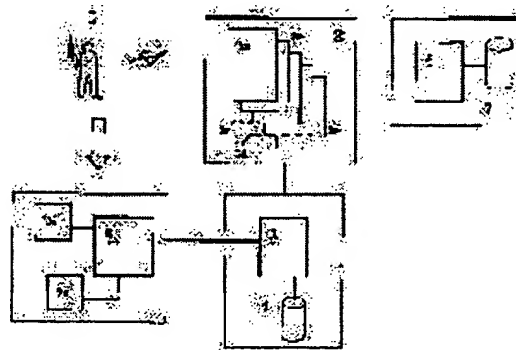
Priority number : 11217626 Priority date : 30.07.1999 Priority country : JP

(54) RECEPTION SUBSTITUTION SYSTEM FOR ON-LINE TRANSACTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a reception substitution system for money which is suitable as a payment means, specially, for Internet transaction by making good use of a convenience store network, etc.

SOLUTION: A server at a web site sends charging backup information including an identifier unique to the whole system at a request made by a customer. The customer prints or displays the charging backup information on the screen of a portable information terminal as a charging backup means, and then carries and it to a store to pay cash, etc., by using a paying means. Transaction data are exchanged between the reception substitute and the seller by using an HTTP means.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 30.07.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-109835
(P2001-109835A)

(43) 公開日 平成13年4月20日 (2001.4.20)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 6 F 19/00		G 0 6 K 7/00	U 5 B 0 4 9
17/60	Z E C	G 0 6 F 15/30	L 5 B 0 5 5
		15/21	Z E C 5 B 0 7 2
G 0 6 K 7/00			3 3 0
			3 4 0 A
審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 6 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-76303(P2000-76303)
 (22) 出願日 平成12年3月14日(2000.3.14)
 (31) 優先権主張番号 特願平11-217626
 (32) 優先日 平成11年7月30日(1999.7.30)
 (33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 591156788
 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
 東京都港区芝公園4丁目1番4号
 (72) 発明者 碓井 誠
 東京都港区芝公園4-1-4 株式会社セ
 ブン-イレブン・ジャパン内
 (74) 代理人 100062373
 弁理士 稲木 次之 (外1名)

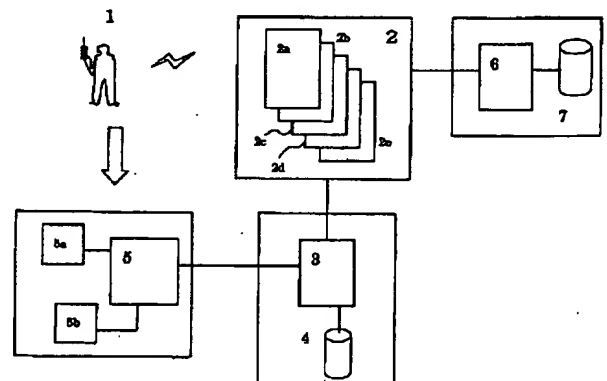
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 オンライン取引の収納代行システム

(57) 【要約】

【課題】 コンビニエンスストア店舗網等を利用して、特にインターネット上の取引の決済手段として好適な代金等収納代行システムを提供する。

【解決手段】 ウェブサイトのサーバは顧客からの要求に応じてシステム全体について一意な識別子を含む請求裏付け情報を送信する。顧客はそれを印刷若しくは携帯情報端末の画面に表示させて請求裏付け手段とし、これを店舗に持参して呈示し同時に現金等の支払手段を行使することにより支払を行う。収納代行者、販売業者との取引データの交換は H T T P 手段を用いて行う。



等の機能強化により、モード（商標名）対応の携帯電話等の携帯情報端末を利用したネット販売が開始されているが、その場合の決済手段としては現状ではクレジット

ト、宅配引きが主流である。

【0005】

【解決すべき課題】コンビニエンスストアを利用した従来の収納代行システムでは、収納代行者が取引・役務提供・公共料金など、料金・売買代金・募集代金を個人から収納する際に、徴収料金の裏付けとなる計算書・取引内容が記載されると共に、支払主体を示す情報（しばしば顧客を特定できる情報となる）が開示されることとなり、個人情報等が第三者である収納代行者に知られるという問題があった。したがってインターネット等を利用した取引の決済手段として従来の収納代行システムを利用するのでは個人情報保護の観点という点で十分ではない。そこで本発明は、顧客にとって便利なコンビニエンスストア店舗網を利用するが、取引内容や個人情報等が収納代行者に開示されず、インターネット取引の決済手段として利用しやすいうい収納代行システムを提供することを目的とする。

【0006】また従来、電子的データ交換の情報伝達規約としては、全国銀行協会連合会により策定された全銀手帳などの標準があるが、インターネットを介したリアルタイムなデータ交換には使用しにくいものであった。そこで本発明は、インターネットでリアルタイムに処理できるオープンな売買契約受注システムを提供すること

を他の目的とする。

【0007】携帯情報端末を利用したネット販売の手段としては、携帯情報端末の画面に注文内容を文字等で表示し店頭で確認する方法もあるが、顧客が携帯情報端末を提示し、店員が携帯電話に表示された内容をキーボードから入力するといった煩雑な作業が発生する欠点がある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は、オンライン管理システムと店舗網を有する収納代行者により顧客からの商品売買代金、役務提供代金、公共料金等の収納を行う収納代行システムであって、顧客からの要求に応じてシステム全体について一意な識別子を含む請求裏付け情報を送信し、店舗において請求裏付け情報が呈示され、かつ支払手段が行使されたときに支払があったものとみなして支払情報をオンライン管理システムに入力することとを特徴とする収納代行システムにより、前記の第一の課題を解決する。

【0009】本発明はまた、オープン通信ネットワークに接続した受注用のサーバと、販売業者または収納代行者のサーバとの間の売買契約受注時のデータ交換を、H T T P 手段を使ってリアルタイムに行うことを特徴とする収納代行システムにより、前記の第二の課題を解決する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 オンライン管理システムと店舗網を有する収納代行者により顧客からの商品売買代金、役務提供代金、公共料金等の収納を行う収納代行システムであって、顧客からの要求に応じてシステム全体について一意な識別子を含む請求裏付け情報を送信し、店舗において請求裏付け情報が呈示され、かつ支払手段が行使されたときに支払があったものとみなして支払情報をオンライン管理システムに入力することを特徴とする収納代行システム。

【請求項2】 前記請求裏付け情報が識別子のバーコード表示を含み、店舗端末装置が光学的読み取り手段を有することを特徴とする請求項1記載の収納代行システム。

【請求項3】 オープン通信ネットワークに接続した受注用のサーバと販売業者または収納代行者のサーバとの間の契約受注時のデータ交換を、H T T P 手段を使ってリアルタイムに行うことを特徴とする収納代行システム。

【請求項4】 顧客の携帯情報端末の画面に表示されたバーコード画像を店舗の光学的読み取り手段で直接読み取ることにより支払情報をオンライン管理システムに入力することを特徴とする収納代行システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【技術分野】本発明は特にインターネットを利用した取引の決済手段として好適な代金等収納代行システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、インターネットを利用した取引においては、顧客が自己のクレジットカード番号を送信し、商品販売業者等がそれを利用して顧客のクレジット

カード口座からの引き落としにより販売代金等を決済する方法が主に用いられている。しかしながら取引の利用者には、たとえ暗号化手段等を用いてもクレジットカード番号等の個人情報や他人に送信することに心理的な抵抗感が強く、このことがインターネットを利用した取引の普及の妨げとなってきた。

【0003】他方、多数の店舗網を有するコンビニエンスストアを簡便な収納手段として利用する見地から、いわゆる公共料金や売買代金、保険料などの収納代行サービスが一般的となっている。この場合、公共料金・売買代金・保険料などの徴収者より、これらの支払者に対して請求書もしくはそれに準じるもの（以下「請求裏付け」）を送付し、支払者が該請求裏付けを収納代行者に持ち込み、同時に現金・小切手・手形・クレジット・預貯金引き落とし依頼などの支払手段を行使すると、収納代行者は請求裏付けの半片もしくは複写を確保すると共に、残りの半片もしくは原本に収納代行済みの証左として押印などを行って支払者に返却し、これにより支払行為の完結を行っていた。

【0004】さらに携帯電話の普及、ネット対応端末化

【0010】HTTPはインターネットでのサーバ・クライアント間の通信手段として広く用いられており、また、クライアント側が送信要求で特別のファイルを指定することなどによりサーバ側にデータ処理を行わせる技術が知られている。そこで顧客端末からの操作で、必要なデータを所定の端末に送信する一連の処理をサーバに自動実行させることにより、リアルタイムな取引データの交換が可能となる。

【0011】本発明はさらに、顧客の携帯情報端末の画面に表示されたバーコード画像を光学的読み取り手段で直接読み取ることにより取引情報をオンライン管理システムに入力する収納代行システムにより、前記の第三の課題を解決する。

【0012】

【実施例1】図1は本発明を利用した売買代金収納代行システムの一例を示す。1は顧客端末装置であり、例えばウェブブラウザ機能を有し、好ましくはさらにプリンタ装置1aを具備するパーソナルコンピュータ装置である。2は受注を受けるためのウェブサイトであり、一般に仮想ショッピングサイトと呼ばれるサービスが提供されている。3および4は収納代行者の管理サーバおよびデータベースであり、各店舗に設けられた店舗端末装置5と好ましくは専用通信回線により接続されている。店舗端末装置5は光学的読み取り装置5a、印刷装置5bを有することが好ましい。この実施例では収納代行者はコンビニエンスストアであり、店舗端末装置5としては各店舗のPOSレジ設備を利用することができる。6は商品販売業者の端末装置である。この実施例では端末装置6は業者の管理サーバであり、データベース7が接続されている。

【0013】ウェブサイト2の運営形態は様々であるが本実施例では販売業者の管理システムに併設されている。仮想ショッピングサイトはサーバ6の記憶装置に格納され携帯情報端末からの要求に応じて送信されるHTMLページ群から構成されており、最も単純な例では商品選択ページ2a、購入申込ページ2b、申込確認ページ2c、払込依頼票表示ページ2dを含む。この場合において、HTMLページ2a、2cにはそれぞれページ2b、2dへのリンク手段が設けられている。また配送を行う店舗を選択するページ2e（図2参照）等をさらに設けてもよい。

【0014】1・2間、及び2・3・6相互間はオープン通信ネットワーク例えばインターネットを介して接続されている。従って取引データの流出や改ざん、ネット上での「なりすまし」の防止のため、必要に応じてSSLを利用した暗号化通信や電子署名認証などのセキュリティ措置を施すことが望ましい。

【0015】

【作用】図2は本システムの処理の流れを示す。商品購入を希望する顧客はウェブブラウザを使用してウェブサ

イト2内の仮想ショッピングサイトに接続し、商品選択ページ2aで購入する商品を選択した後、購入申込ページ2bに埋め込まれた申込フォームを使用して購入申込をサーバ6に送信する。それに応じてサーバ6はシステム全体についてユニーク（一意）な識別子を発案し、払込依頼票表示ページ2dを表示する。またサーバ6は注文確定処理のための情報を含む全情報をデータベース7に書き込み、サーバ3はその中の必要な情報をデータベース4に書き込む。

10 【0016】サーバ6はさらに、前記払込依頼票表示ページ2dへのリンク手段を有する購入確認ページ2cを顧客端末装置に送信し、払込依頼票ページ2dへの顧客のアクセスを可能にする。なお販売業者によっては契約前に在庫状況の確認が必要であるため、直ちに払込依頼票を表示せず、一旦注文を仮受けしておいて、在庫確認後に販売業者から顧客への電子メールにより正式回答及び払込依頼票表示ページのURLを伝えることもできる。この場合、あらかじめ販売業者端末装置6により顧客の電子メールアドレスがデータベース7に登録されている必要がある。

20 【0017】発案される識別子は取引内容などを容易に推測可能なものであってはならず、またシステムが複数のサイト、販売業者等を含む場合にも一意性を維持できるように拡張可能な形式であることが望ましい。これにより、取引内容等を払込依頼票に記載しなくとも、これらの情報が収納代行者に知られるのを避けられる。またさらに識別子や払込金額等から生成した暗号コードを併記すれば、顧客によるデータの改ざんを予防することができる。なお詳細には説明しないが前記仮想ショッピングサイトはさらに購入申込のキャンセル手段および申込内容変更手段を提供することが望ましい。

30 【0018】図3は申込確認後に顧客端末装置1の画面に表示される払込依頼票表示ページ2d表示画面の一例を示す。10は払込依頼票全体であり、11は識別子及び暗号コードを示すバーコード画像、12は識別子及び暗号コード番号、13は購入申込年月日、14は払込金額、15は販売業者名、16は収納代行者名である。本実施例では店頭で商品を引渡すのでさらに店舗名17及び店舗電話番号18の表示を含む。

40 【0019】顧客端末装置1に払込依頼票表示ページ2dが表示されると、顧客は、ウェブブラウザの印刷機能を使用して表示イメージを印刷し、または識別コード番号をメモして、支払を希望する店舗にいずれかを持参して呈示し、同時に現金・小切手・手形・クレジット・預貯金引き落とし依頼などの支払手段を行使する。店舗では、店員が呈示された払込依頼票10に表示されたバーコードをPOSレジの光学的読み取り装置5aで読み取り、または番号をキーボードから入力することにより識別子を店舗端末装置5に入力し、管理サーバ3に送信する。管理サーバ3からは決済データが返送され、支払が

適正であれば店員は印刷装置5bで図示しない商品引換票(店頭引渡し以外の場合は受領証)を印刷し、これを顧客に渡すことにより収納を完結する。

【0020】入金を確認されると管理サーバ3はデータベース4内の預り予定データの消し込みなどを行い、同時にHTTP手段により販売業者端末装置6に入金通知を行う。これにより販売業者側では収納が完了したことを確認する。販売業者に対する通知手段としては販売業者端末装置6からの送信要求を待って送信してもよく、またHTTP手段の他に電子メール手段を用いることもできる。

【0021】本実施例ではコンビニエンスストア店舗が商品の配送地点を兼ねているので、販売業者は同じ店舗または顧客が指定した別の店舗に対して識別子を表示した納品書(図示せず)と共に商品を発送する。顧客は後日希望した店舗において商品引換票を商品と交換することができる。その際、商品の内容が通知される必要はなく、商品引換票及び納品書の識別子を照合することにより引渡しを行う。本実施例のように代金前払いとすれば商品の配送の無駄を防ぐことができるというメリットがあるが、配送希望店舗に商品を配送しておいて代金収納と同時に引き渡すシステムとしてもよい。この場合は納品書と払込依頼票の識別子を照合する。上記の実施例は商品販売契約の代金収納を行う場合について説明したが、本システムは役務提供契約の代金や公共料金の収納にも用いることができる。

【0022】

【実施例2】図4及び5は識別子の受渡しに携帯情報端末を利用した売買代金等収納代行システムの一例を示す。1は顧客の携帯情報端末、例えばiモード対応の携帯電話であり、ウェブサイト2のサーバ装置と移動通信網及びインターネット等を介して通信できる。商品購入を希望する顧客は、携帯情報端末1のウェブブラウザ機能を使用してウェブサイト2内の仮想ショッピングサイトに接続し、商品選択ページ2aで購入する商品を選択した後、購入申込ページ2bに埋め込まれた申込フォームを使用して購入申込をサーバ6に送信する。それに応じてサーバ6または3はシステム全体についてユニーク(一意)な識別子を発案し携帯情報端末1に送信すると共に、データベース4、7に対して実施例1と同様の処理を行う。

【0023】サーバ6は購入確認ページ2cを顧客端末装置に送信し、顧客の確認を受けた後、支払方法選択ページ2eを顧客に送信する。支払方法選択ページ2eのメニューから店舗支払が選択されると、サーバーから送信した識別子がバーコード画像として画面に表示される(払込依頼票表示ページ2d)。携帯情報端末1の画面

に払込依頼票表示ページ2dが表示されると、顧客は、ウェブブラウザの画面保存機能を使用して表示内容を保存し、支払を希望する店舗に携帯情報端末1を持参して呈示し、同時に支払手段を行使する。店舗では、店員が呈示された携帯情報端末1を操作して画面に表示されたバーコードをPOSレジのハンドスキャナ(光学的読み取り装置)5aで読み取ることにより識別子を店舗端末装置5に入力する。

【0024】

【効果】本収納代行システムにより、顧客は、仮想ショッピングサイト等での取引代金を最寄りのコンビニエンスストアで簡便に支払うことができ、また収納代行者に対して個人情報を開示する必要がないので、ネット上の取引に関して匿名性を保つことができる利益を有する。収納代行者は、既存のオンラインシステムと店舗網を生かしてサービスの多様化を図ることができる。販売業者は、料金収納を確認してから商品を発送できるので、顧客による受取拒否や料金不払いのリスクを回避することができ、また販売方法が増えることにより売上増を期待できる。また、受注システムにHTTP手段を用いることにより、情報を速やかで安全に販売業者等に伝えることができ、顧客の作業を減らすことができる。また汎用のソフトウェアを活用できる利点もある。

【0025】識別子の受渡し手段として携帯電話を使用すれば、顧客は識別コード番号をメモしたり払込依頼票を印刷する必要がなく、ペーパーレスに処理を行なうことができる。また改ざんやなりすましの恐れも少ない。さらに携帯電話の表示画面をハンドスキャナで直接読取る入力方法を採用すればキーボードからのコード入力も不要となり、レジでの作業を軽減できるので、店舗での運用が容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例1の収納代行システムが商品販売代金の支払に用いられる場合の構成を示す。

【図2】 実施例2におけるデータ処理の流れを示す。

【図3】 本発明の支払依頼票の一例を示す。

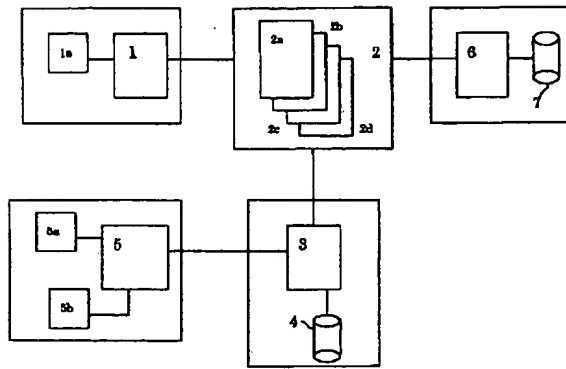
【図4】 実施例2の収納代行システムの構成を示す。

【図5】 実施例2におけるデータ処理の流れを示す。

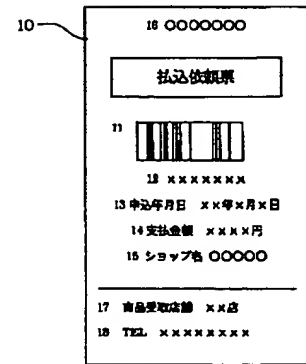
【符号の説明】

- 1 顧客端末装置
- 2 受注サーバ
- 3 管理サーバ
- 5 店舗端末装置
- 5a 光学的読み取り装置
- 6 販売業者端末装置
- 11 バーコード画像

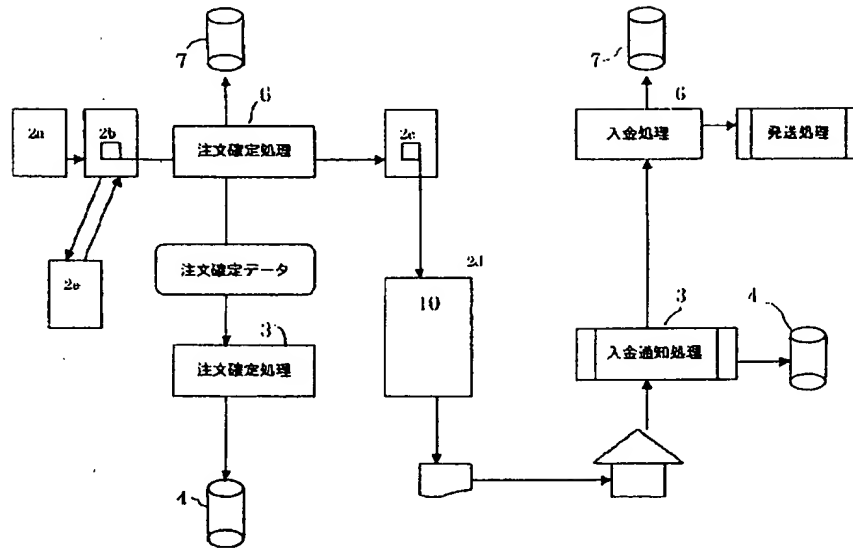
【図1】



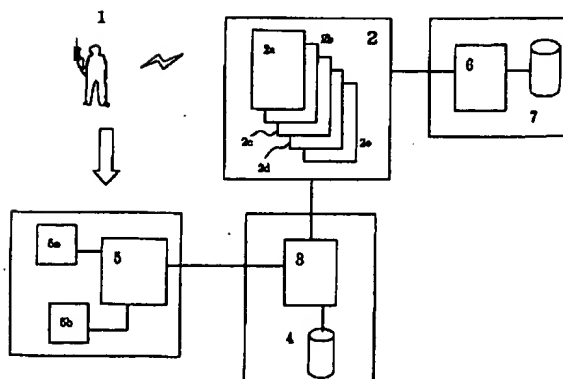
【図3】



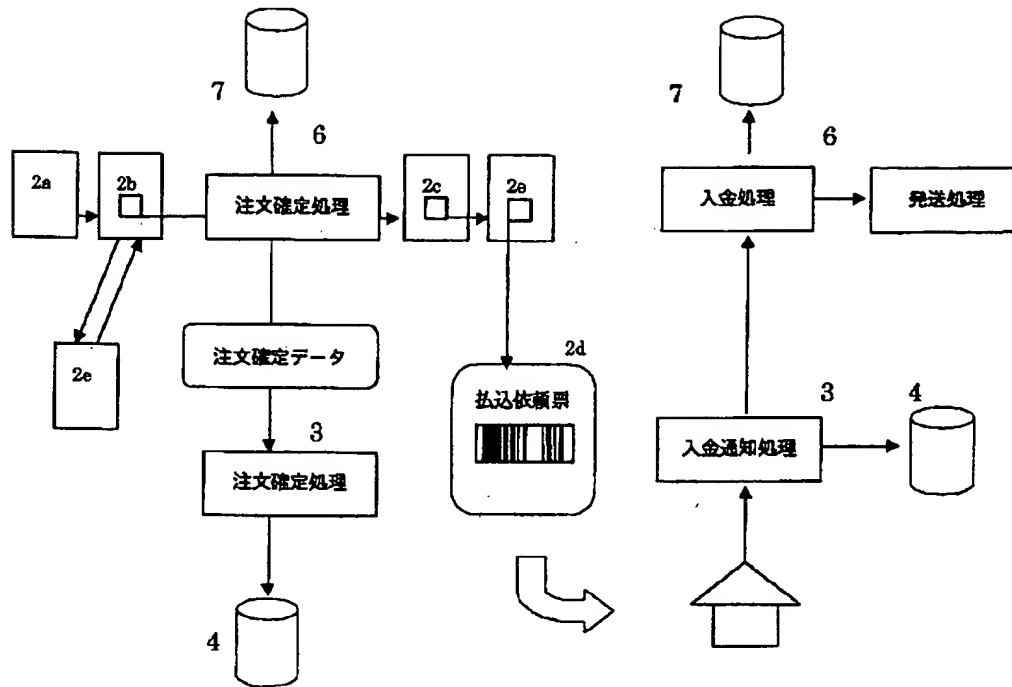
【図2】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

識別記号

F I
G 0 6 F 15/30

テ-マ-ト (参考)

C
3 6 0

F タ-ム (参考) 5B049 AA01 AA02 AA05 AA06 BB11
 CC06 CC08 CC36 DD02 EE05
 EE28 FF02 FF04 GG01 GG04
 GG06 GG07 GG10
 5B055 BB10 BB12 CB09 CB10 EE02
 EE03 EE12 EE17 EE27
 5B072 BB00 CC24 DD02